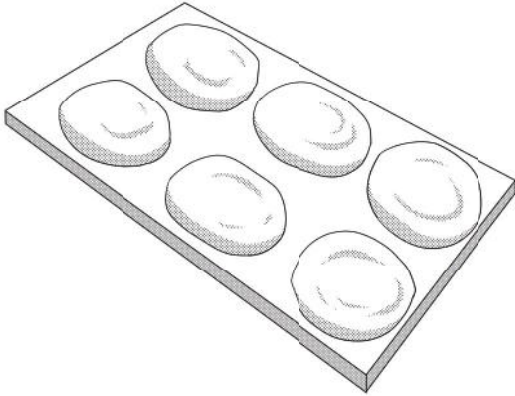


ウッドブロックタイル 施工方法

ウッドブロックタイルはピンネイルでの仮留めが可能です。接着時にタイルが下がるのを防ぎ、素早い施工を可能にします。

1



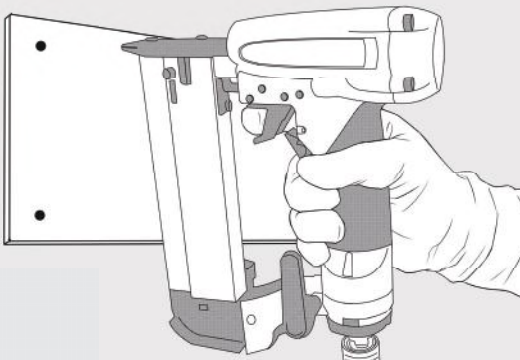
裏面に接着剤を塗布します。接着剤の厚みは4~5mm程度で全面にまんべんなく塗布します。

2



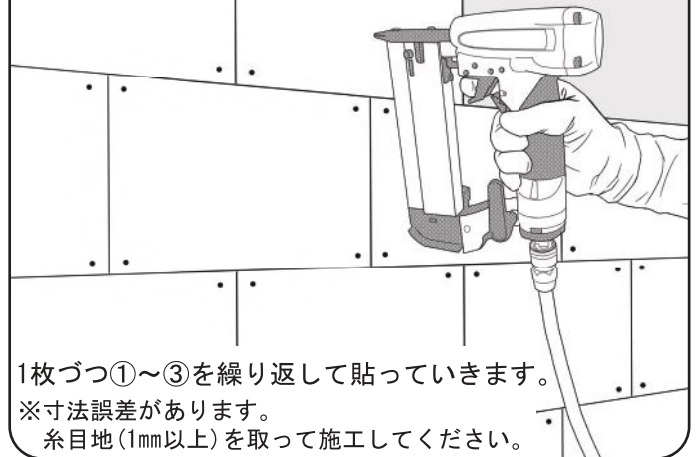
壁面に圧着させます。

3



ピンネイルで仮止めします。端から3cm以上離して止めます。(端だとタイルが割れる場合があります)

4

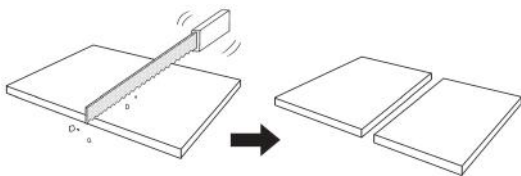


1枚ずつ①~③を繰り返して貼っていきます。
※寸法誤差があります。
糸目地(1mm以上)を取って施工してください。

カットについて

ウッドブロックのカットは手ノコで加工する事もできます。ダイヤモンドカッターであればより簡単に切断できます。

(※ノコは塩ビパイプ切断用が最適です)



タイル貼り付け用ボンド参考例

弾性系の接着剤を使用することにより下地の動きの影響を軽減できます。変性シリコーン樹脂、変成シリコーン・エポキシ樹脂を使った接着材が一般的です。従来の変成シリコーン・エポキシ系樹脂と比較して、ウレタン・エポキシ樹脂系の方がより高弾性な物性が得られ、耐水・耐アルカリ性にも優れた性能を持っています。



株式会社大建化学 ネオピタ
(変成シリコーン・エポキシ樹脂)



タイルメント
フレックスマルチ
(変成シリコーン・エポキシ樹脂)



セメダイン
タイルエース Pro
(変性シリコーン樹脂)

ウッドブロックタイル使用上の注意点

ウッドブロックタイルは、軽量なため強度が限られています。そのため、ボードの継ぎ目で割れが発生する場合があります。特に木造建築の壁面等で使用される場合については、ボードが動きやすいため、割れが発生しやすくなります。

できるだけ下地を固定し、弾性系の接着剤を使用することで、下地の動きの影響がタイルに伝わらないようする事により割れの発生を抑える事ができますが、ボードの動きによっては完全に割れを防ぐことはできません。ただし、割れがそのまま剥離に繋がる事はありません。安心してご使用いただけます。また、割れが出た場合、目立たなくする補修方法がありますので、長くご使用いただけます。

またボードの継ぎ目とは別に細かいクラックが入る場合もあります。セメント製品において発生する収縮クラックとなります。剥離等の心配はなく、補修も可能です。小さいクラックについては、製品上の特徴として、ご理解いただければと思います。